

社会教育課程の教員・講師陣（講師 五十音順）



齊藤ゆか 専任教員

神奈川大学 人間科学部教授

博士（学術）。専門は、生涯教育学、福祉教育・ボランティア学、生活経営学ほか。2016年より神奈川大学着任。主な関心は、

世代を超えた人がつながる仕組み、生涯にわたる学びと成長など。著書は、『ボランティア活動とプロダクティヴ・エイジング』（ミネルヴァ書房）、『実践事例にみるひと・まちづくり』（ミネルヴァ書房）、『創年のススメ』（ぎょうせい）、『福祉社会における生活・労働・教育』（明石書店）『ボランティア評価学』（ミネルヴァ書房）ほか多数。



寺嶋正尚 社会教育経営論Ⅱ

地域デザイン演習Ⅳ

神奈川大学 経済学部教授

博士（経営学）。前職の産業能率大学在職中に、大学附設の地域マネジメント研究所研究員として、自由が丘のまちづくりに関する研究に着手。以降、研究領域の1つに、

商店街研究やまちづくり研究を掲げる。近年では神奈川大学のある六角橋商店街や、全国の名物商店街に関する論文を執筆。



磯田浩司 地域デザイン演習Ⅰ

（特非）グッド代表

大学卒業後、一般企業就職を経て国際 NGO 活動や日本国内での NPO、ボランティア活動に数多く参加。1998年より、大分県竹田市にある全校生徒300人中200人が元不登校という高校での住み込みボランティアを行う。その生徒たちとの出会いが契機となり、2001年1月不登校・ひきこもり経験者を含む全ての若者を対象にきっかけづくりの活動を行う任意団体、グッド設立。2008年11月NPO法人化／代表理事就任。xワークキャンプ、フリースペース、共同生活寮の運営を行う。



加藤憲一 社会教育経営論Ⅱ

前小田原市長

1964年、小田原市生まれ。京都大学法学部卒業。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、自然農、商業ビル企画管理、地域シンクタンクなどを経て、2008年に第20代小田原市長に就任。以後、3期12年を務める。2020年5月に退任後、神奈川大学非常勤講師のほか、小田原柑橘倶楽部取締役、星槎大学特任教授などを務める傍ら、小田原で耕作放棄地開拓や農業、多彩な実践者たちのネットワークづくりなどに取り組みながら、市長時代以来のライフワークである「持続可能な地域社会」の実現を目指している。



倉岡正高 生涯学習支援論Ⅱ

東京都健康長寿医療センター研究所 研究員

高齢者の介護予防・フレイル予防、社会参加活動、世代間交流などについて研究。横浜市在住で、これまで自治会長、PTA会長、学校支援コーディネーター、学校運営協議会会長などを経験。NPO法人日本世代間交流協会理事。著書に、「コーディネーター必携シニアボランティアハンドブック（2016）」、「保健福祉職のための「まち」の健康づくり入門（2021）」



笹井宏益 生涯学習論

玉川大学 特任教授

これまで、人生の前半の17年間行政機関で、後半の17年間を教育研究機関で勤務。こうした経験を活かして、これからの時代を生き抜くことができる、理論と実践力の両方を身につけた Lifelong Learner（ライフロング・ラーナー）を育てていきたいと思っている。それゆえ、この科目では、実践的な知見を身につけてもらうための学習が中心になり、伝統的な理論の説明に加えて、SDGsなどの課題論やジェンダー平等論、多文化共生論、居場所論、子育て支援論などを積極的に取り上げていく。



澤岡詩野 生涯学習支援論Ⅱ

(公財)ダイヤ高齢社会研究財団
研究部 主任研究員

武蔵工業大学卒業、東京工業大学大学院博士後期課程修了、東京理科大学助手を経て、2007年より現職。専門は豊かに歳を重ねるための社会とのつながりのあり方を追求する「老年社会学」。特に、つながりが弱くなりつつある都市部で、ゆるやかなつながりのあり方、地域コミュニティへの関わりを研究している。アンケートやインタビューから得られたデータ分析だけではなく、実際に家庭や職場につぐ第三の居場所づくりにプレイヤーとして関わっている。



高城芳之 地域デザイン演習Ⅰ

(特非)アクションポート横浜
代表理事

大学時代から「若者と地域をつなぐ場づくり」をテーマに活動をはじめ、新卒でNPOの世界に飛び込む。NPOでは横浜市内のNPOや大学、企業、行政とのつながりを活かして学生のボランティアマネジメントを始め、企業の社会貢献活動の相談事業、プロボノ支援事業などを企画運営してきた。

担当の授業では横浜市内のまちづくりNPOや行政を訪問して、今現場で何が起きているのか、理解を深めていく。



秦野玲子 社会教育論

RE Learning 代表

元社会教育主事。公民館と生涯学習課にて勤務した後、学び直しのために退職して大学院に進学。教育学研究科カリキュラム開

発専攻修了。

現在は、参加型学習のプログラムやアクティビティの研究開発と実践による、おとなの学びの支援が主な活動で、生涯学習ボランティア養成講座、子育て支援者養成講座、家庭教育学級、社会教育職員研修、教職員向け人権研修などの講師・ファシリテーターを務める。

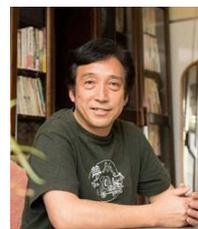
おもちゃインストラクター、アクティビティインストラクター。相模原市社会教育委員。



瀬沼頼子 社会教育実習Ⅰ・Ⅱ

昭和女子大学 人間社会学部
現代教養学科 特任教授

専門は農村計画、地域環境計画等。農村地域をフィールドにむら・まちづくりの実証的研究を行う。現場での様々な経験の蓄積が、担当授業に活かされている。「都市農村交流のあり方」のプロジェクト活動を実践。アグリタウン研究会にて東京都の農業・農地、環境を考える研究にも参加。主な著書：『実践事例にみるひと・まちづくり グローカルコミュニティの時代』（共著、ミネルヴァ書房）、『ホーム・エコノミックス』（共著、ドメス出版社）、『生活時間と生活様式』（共著、光生館）、『21世紀のライフスタイル -豊かさゆとりを求めて-』（共著、朝倉書店）他。



西野博之 生涯学習支援論Ⅰ 地域デザイン演習Ⅱ

(特非)フリースペースたまりば理事長・
川崎市子ども夢パーク/フリースペースえん/川崎若者就労・生活自立支援センター「ブリュッケ」/コミュニティスペースえんくる各事業総合アドバイザー

1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、様々な障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年オープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託で公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、代表に就任。2006年、川崎市子ども夢パークの所長に就任。現在は総合アドバイザー。